

この度は、当社の製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

ご使用前に必ずこの取扱い説明書をお読み頂き、正しくお使いください。

製品を末永くご愛用頂き、また事故防止などの安全のために「安全上のご注意」と「取扱い上のご注意」、別添の「使用上のご注意」を必ずお守りください。取扱い説明書は必ずご使用時にいつでも読むことができるように大切に保管してください。

CSD wa

家庭用品品質表示法に基づく表示

外形寸法 幅321mm x 奥行450mm x 高さ600mm
(天板の高さ 600mm ~ 740mm)

天板の表面材 プリント紙化粧板

表面加工 _____

取扱い上の注意

I. 直射日光または熱を避けてください。
 II. 加圧したなべ・湯沸し等を直接置かないで下さい。
 III. 著しい汚れを落とす場合は、うすめた中性洗剤を使用して下さい。

製造元 小島工芸 株式会社
03-3674-2251

● 付属部品



鍵ヒネリ
2本組 × 1 Set

安全上のご注意(必ずお守りください。)

表示内容を無視して誤った使い方をすると、**人が重傷を負ったり死亡の可能性が想定されるケガや物的損害の発生が想定され大変危険**です。以下のことを必ずお守りください。

引出を最後まで引き出したまま、引出に手をかけないでください。破損したり、転倒する恐れがあります。

ワゴンに乗ったり、激しく動かしたり、押して遊ばないでください。

引出の開閉には十分注意してください。手をはさんで思わぬケガをする事がございます。

取扱い上のご注意

警告 火災などによる**人身事故**にご注意ください。

暖房器具の前など高温な場所で使わないでください。

お客様自身で修理・改造はしないでください。

ワゴンに乗らないでください。(転倒してケガの原因)

引出を最後まで引き出したまま、引出に手をかけないでください。(転倒してケガ・製品破損の原因)

注意 **安全と製品保護のため正しくお取扱いください。**

ワゴンの前輪キャスターにはストッパー機能がついています。移動を止めたいときにはレバーを下げて下さい。

使用中にボルトや金具にゆるみが生じた場合は、早めにドライバー等でしっかり締めなおしてください。

(ぐらつき・落下の原因)

お願い **製品を末永くご使用いただくために、以下のことについてお守りください。**

棚板の上に熱いものをのせないでください。(コゲつき・変色の原因)

直射日光のあたるところ、温度の高いところ、湿気の多いところでは使用しないでください。(反り・割れ・変色・カビの原因)

製品にシールやセロハンテープ等を貼り付けしないでください。(表面材がはがれる原因)

シンナー・ベンジン等を吹き付けしないでください。

お手入れはやわらかい布で乾拭きしてください。汚れのひどいときは、中性洗剤をうすめた液か石けん水に布を浸し、よく絞ってから拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。

取扱説明書

ワゴン 大引出しストッパー解除の方法

ご注意

引出しを外したり収納する際は、必ず大人2人以上で慎重に行ってください。
ワゴンを転倒させてケガをしたり、床、壁等や製品を傷つけたりすると危険ですので十分注意をして行ってください。

引出しのレールには、ワゴンの移動時等に不必要な開閉を防止するストッパー機能がついています。
ご使用中、引出しの出し入れが重いと感じられる様な事がありましたら、下記の要領にてストッパー機能を解除する事により解消する事ができます。

引出しを取り外す際は、ワゴン本体の前側に付いている左右2個のキャスターに、ストッパー機能が付いております。

ワゴンが不用意に動いてケガをしたり壁等にキズをつけない様、必ずストッパーをセットしてください。

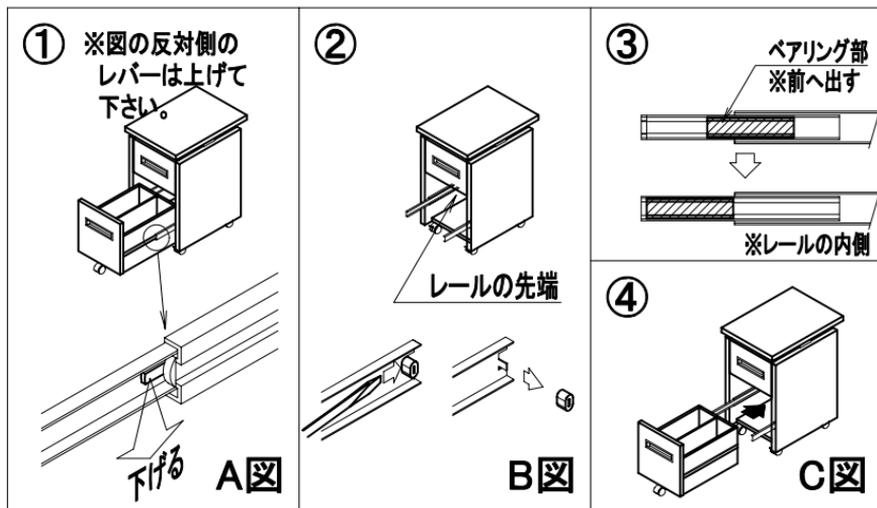
引出しを全開にして、両側にあるスライドレールのA図のレバーを右側は下げ、左側は上げた状態のまま、引出しを引き出して外してください。

本体内部左右に付いているスライドレールの後部(奥)にある「ストッパー(ゴム)」をB図の様にマイナス(-)ドライバー等で外してください。この時、ケガをしたり製品にキズをつけたりしない様、慎重に行ってください。

レール内部のベアリング部を前方に移動してください。

(ベアリング部が後方にあるまま引出しを差し込みますと、ベアリング部が破損します。)

本体内部に付いているレールに引出しの左右に付いているレールを平行になる様に差し込んでください。ピッタリとはまりましたら、そのまま多少強めに押し込んで引出しを元通りに収納すれば完了です。押し込む際にはレールの構造上、多少きつくなっておりますのでケガをしない様、慎重に行ってください。



天板昇降時の操作方法

昇降天板の高さは高さ調整が可能です。
以下の方法にてお好みの高さに調整して
ご使用ください。

昇降天板を上昇させる場合
天板の両側中央のレバーには手を掛け
ず、天板を両手で持って左右均等に上
昇させて下さい。
上昇させると「カチッ」と音が鳴りま
す。音の鳴った位置で手を放せば自然
にロックします。



天板昇降を下降させる場合
左図の様に両側のレバーを上
げて均等に下降させてくださ
い。

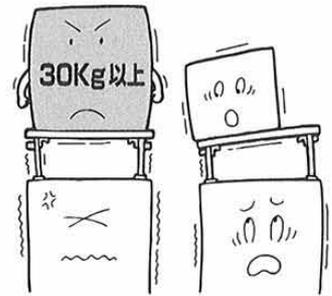
⚠ 天板昇降金具 取扱上のご注意

製品を安全にお使いいただくために、以下の内容をよくお読みの上、必ず守ってご使用ください。

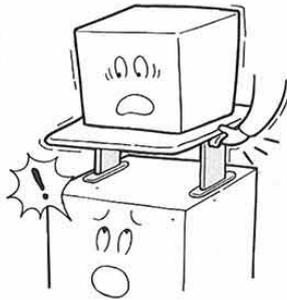
- ①ワゴンの上には絶対に乗らないでください。
天板が落下、またはワゴンが転倒してけがをすることがあります。



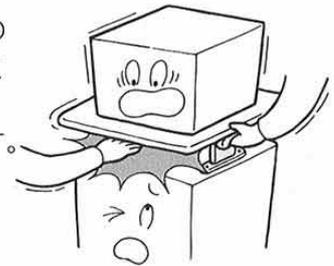
- ②30Kg/セット（弊社推奨耐荷重）を超えるものは置かないでください。また、片寄ったものの置き方はしないでください。
天板が落下、またはワゴンが転倒してけがをすることがあります。



- ③昇降天板にものを載せた状態では、レバーに触らないでください。天板が落下して、けがをすることがあります。



- ④ものを載せたままの昇降は絶対にしないでください。天板が落下して、けがをすることがあります。



- ④ものを載せたままの昇降は絶対にしないでください。天板が落下して、けがをすることがあります。

- ⑥昇降天板に寄りかからないでください。
天板が落下、またはワゴンが転倒してけがをすることがあります。



- ⑦金具の分解や改造は絶対にしないでください。
故障の原因になる他、けがをすることがあります。

